



公民館フェスティバルは日ごろの成果の発表の場

あなたと町のかかわりは…? **11の質問**(自問自答)

1. 何か習い事や学習をしていますか。
 2. 日常生活の中でつよい関心を持っていることは何ですか。
 3. 今後どんなことを習ったり学んだり（続けたり）したいですか。
 4. 日常住んでいる町の住民であるという実感を持っていますか。
 5. 今住んでいる町にこれからも住み続けたいと思っていますか。
 6. この1年間に町の公民館（またはそれに代わる施設）に行つたことがありますか。
 7. 町が実施する学習活動などの催しに参加したことがありますか。
 8. 地域のサークルに参加していますか。
 9. この町のための役割を何か持っていますか。
 10. 地域のボランティア活動に参加したことがありますか。
 11. どんな時に自分の町の動きに参画していると感じますか。

生涯学習とまちづくり

り生きがいをもつた生活を送るために、何度もやり直しのきく社会、そんな社会を生涯学習社会と呼ぶことができます。そのためには、

①さまざまなもの学習の要求に対する、さまざまなもの学習の機会が用意されている必要があります。

②また、学んだことが、どこでどのようにして学んでも正当にその成果が認められることでなくてはなりません。

なにを、どこで、どのようにどのくらい学ぶかということは、皆さん一人ひとりの意欲とがんばり次第なのです。

より豊かに、より充実し、より生きがいをもつた生活を送るために、何度もやり直しのきく社会、そんな社会を生涯学習社会と呼ぶことができます。そのためには、

①さまざまな学習の要求に対する、さまざまな学習の機会が用意されている必要があります。

②また、学んだことが、どこどのようにして学んでも正当にその成果が認められることでな



民館講座－生涯學習

生涯学習とまちづくり

研究全国大会

仕事をし、楽しめる町、そんな町が目指されるのです。

生涯学習とまちづくり

研究全国大会

今日、生涯学習のまちづくりを掲げるまちが増え注目を集めています。

生活が高まり、心が豊かで、生きがいのあるまちにするために努力をしているまちがたくさんあります。

この度、全国から、生涯学習のまちづくりを推進している関係者の方々が、当町に集まり、まちづくりの方向を探ろうとう大会を開催します。全国からのさまざまなアイデアある事例をもとに、町の明日を考えようというものです。

白井町自身のまちづくりに役立つ資料を得るチャンスとらえて、有意義な大会となることが期待されています。

ますます

特集：生涯学習と まちづくり

「生涯学習」は、「老後の生活のため」ではなく、日々、新しく自分を発見し、個性を生かして心豊かな人生を送るための學習なのです。

生活を豊かにし、職業上の能力の向上を目指して、生きがいをもつた生活を送ることをねらいとして、自分で、好きなときに、好きな方法で、好きな場所で生涯に渡って行われるさまざま



ゲートボールで楽しく

なぜ生涯学習が必要か

が生まれました。
出版社が「生涯学習年鑑」を
刊行したり、週刊誌が生涯学習
記事を特集したり、生涯学習の
専門雑誌が書店の店頭に並ぶな
ど、生涯学習時代を意識したさ
まざまな表れがあります。
時代はいまや、まさに生涯学
習の時代なのです。

なぜ生涯学習が 必要か

①少子化
平均出生数は1・54人と少子

す。子育てが終わり、どう自分の人生を生きるかということを、真剣に考えなければなりません。また、全国の4割の市町村が過疎化の現象にあります。

②高齢化

今や平均寿命は世界一。長寿国日本は高齢化社会に突入しているのです。

③所得水準の向上と自由時間の拡大

所得水準の向上と自由時間の拡大に伴って、それらをどのように

④ 科学技術の進展

これが大切となつてきます。

日進月歩する科学技術に対するには、従来の学校教育による知識・情報・能力をもとにしての対応では十分とはいえません。そこで、再教育（リカレント教育）の必要性が生ずるのです。さまざまに変容、進展する現代社会の中で、これから社会を「生きがいをもつて生きるか」というところに、教育・学習は生涯に渡つて行われるという考え方がでてくるのです。

増える学習機会

老後の生活のためではなく、激しく変化する現代社会の中で、より豊かに、より充実し、より生きがいを持つた生活を送るために、生涯学習が生まれました。近年、出生率の低下、高齢化、自由時間の拡大、科学技術の進歩などにより、生涯に渡つて学習する機会が増えています。今回は、この生涯学習について取り上げて見ました。

まな学習、これを生涯学習とい
うのです。

生涯學習

という時代

むつみ会は、昭和57年に発足しました。会員は60歳以上の人で、現在94人加入しています。最高齢者は89歳です。会の活動は、踊り、ボランティア活動、花いっぱい、地区の清掃、コーラス、歩こう会など。定例会も月に1回開催前センターで開催しています。

ださい（宮下 80-01-94）
還暦は第3の人生。戦前が
第1の人生なら戦後が第2の
人生。今までの身分、職業を
捨てて、新しい出発として自
分の健康を保ち、社会に貢献
することが大事だと思います。
これまでの生涯教育は受け
身で、生涯学習は自分から進
んで参加するものだと思いま
す。また、老化予防にも役立
つと思います。

人により立場や環境が違う
ので、食事のメニューと同じ
ように、生涯学習の項目はた
くさんあつたほうが良いので
はないでしょうか。



むつみ会代表
宮下秀男さん
(堀込1丁目)



あなたも講座に参加しませんか



英会話教室(初級編)	白井駅前センター	□971151
実践できる日常会話を学びます。		
日時 10月8日(火)、15日(木)、12月22日(木)、29日(木)、11月6日(金)、20日(金)、26日(木)(全8回)		
講師 講師 講師	譲尾美恵子先生	
定員 町内在住一般40人		

講座はもつと幅広く開催を



料理には、中央公民館で普及所の方が講習をしていること

七宝焼教室	白井町富士239-12	□461911
日時 10月～11月の毎週日曜日(全8回)		
講師 上保サダ子先生		
定員 町内在住一般15人		

牛乳パックのイストと扇子入れ作り

福祉センター	白井町清戸766-11	□922022
日時 9月30日(水)、10月7日(水)		
午後1時～3時30分		

ろから関心がありました。昨年富士センターで中国料理の講座があることを知り、参加しました。物をつくる中で、若い人の交流や、単純でも隠いの大切さを感じました。現在は、中国料理の講座で一緒になった人と「中国料理梨華」

というサークルをつくり活動をしています。生涯学習はだれもが気軽に参加できるものだと思います。講座の内容を大人から子どもまで参加できるように、もつと幅広く開催したかったのではないでしょうか。

そうすればたくさんの人が参加できるようになるのでは。

生涯学習推進本部を設置



推進本部会議

平成3年度から文部省の指定を受け、平成3年8月に生涯学習推進本部が設置されました。推進本部では、学習情報の提供や相談、学習機会の整備と拡大して、いろいろな事業に取り組んでいます。

特集：生涯学習とまちづくり

自己を高め充実したい、心を豊かにしたい、生활を高めたいという、皆さんのがさまざまな夢の実現に向けて、少しでも役に立てるよう、生涯学習のまちづくりのために、生涯学習推進本部を設置して、いろいろな事業に取り組んでいます。

夢の実現に向けて

そして、住民一人ひとりの生涯学習を効果的に推進するため、生涯学習だよりを発行して、情報の提供を行います。

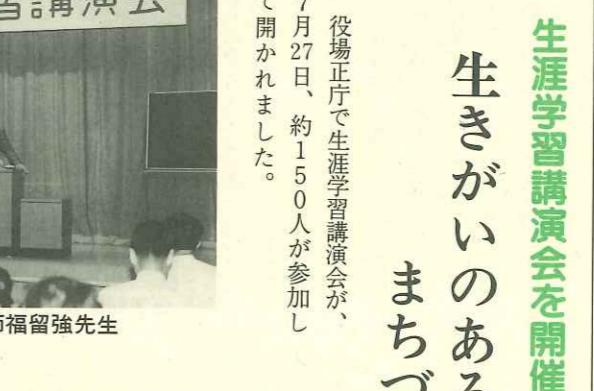
学習サークル活動

町内の公民館では、毎年公民館フェスティバルを開催しています。この行事は公民館を利用していいるサークルの学習成果の発表や、サークル同士の交流などのために役立ちます。また、公民館講座の開催、サークル活動の支援など学習機会の充実を進めています。

講演会などの実施

今年7月、吉岡たすく先生をお呼びして家庭教育講演会を開催しました。11月には生涯学習振興大会を開催する予定です。このような講演会を、これからもさらに充実させていきます。

また、今月4日には全国生涯学習まちづくり研究大会を白井町で開催します。



生涯学習講演会を開催
生きがいのあるまちづくりのために

親と子の文化財めぐりや歴史散歩、房総の魅力めぐりなどを

もどんと開催する予定です。

文化財に親しむ

この講演会は、全国生涯学習まちづくり研究大会の事前講演会として行われたものです。

講師として文部省生涯学習局社会教育官福留強先生を招き、「生きがいのあるまちづくりのために」と題して講演して頂きました。

豊富な事例とユーモアを交え、分かりやすく熱のこもった講演をして頂きました。

当日参加した皆さんは、これから白井町の生涯学習について、ますます意欲が湧いてくることでしょう。

組みひも教室

日時 9月24日(水) (全8回)
午後1時30分～3時
講師 田中りん先生
定員 15人

材料費 帯締め2,300円程度(他の作品では材料費は異なります)

申し込み 電話で直接同センターへ(定員になり次第締め切り)

映画会「みんなのしあわせ」

日時 9月8日(水)～11日(金) 午前10時30分～11時30分
対象 60歳以上の人
内容 体の不自由な人たちを、地域ぐるみで育てる

通して生涯学習に役立てようと

いうものです。
また、これらに関連した事業



会場となる福祉センター

全国から

全国から

全国生涯学習



分科会の内容

【第1分科会】

「芸術・文化のまちづくり」

- 芸術・文化活動は、まちづくりにどのように関係するか
- 芸術・文化活動を活発化するには、どんな方法が考えられるか
- 芸術・文化活動をする団体をどのように援助すればよいか

事例発表：林 行俊（町音楽協会会長）外

【第2分科会】

「女性から見たまちづくり」

- 生涯学習のまちを推進する体制づくりについて
- 日常の学習活動とまちづくりの関連について
- 女性から見たまちづくりとは

事例発表：中村千広（町英語劇教室代表）外

【第3分科会】

「団体活動・ボランティアとまちづくり」

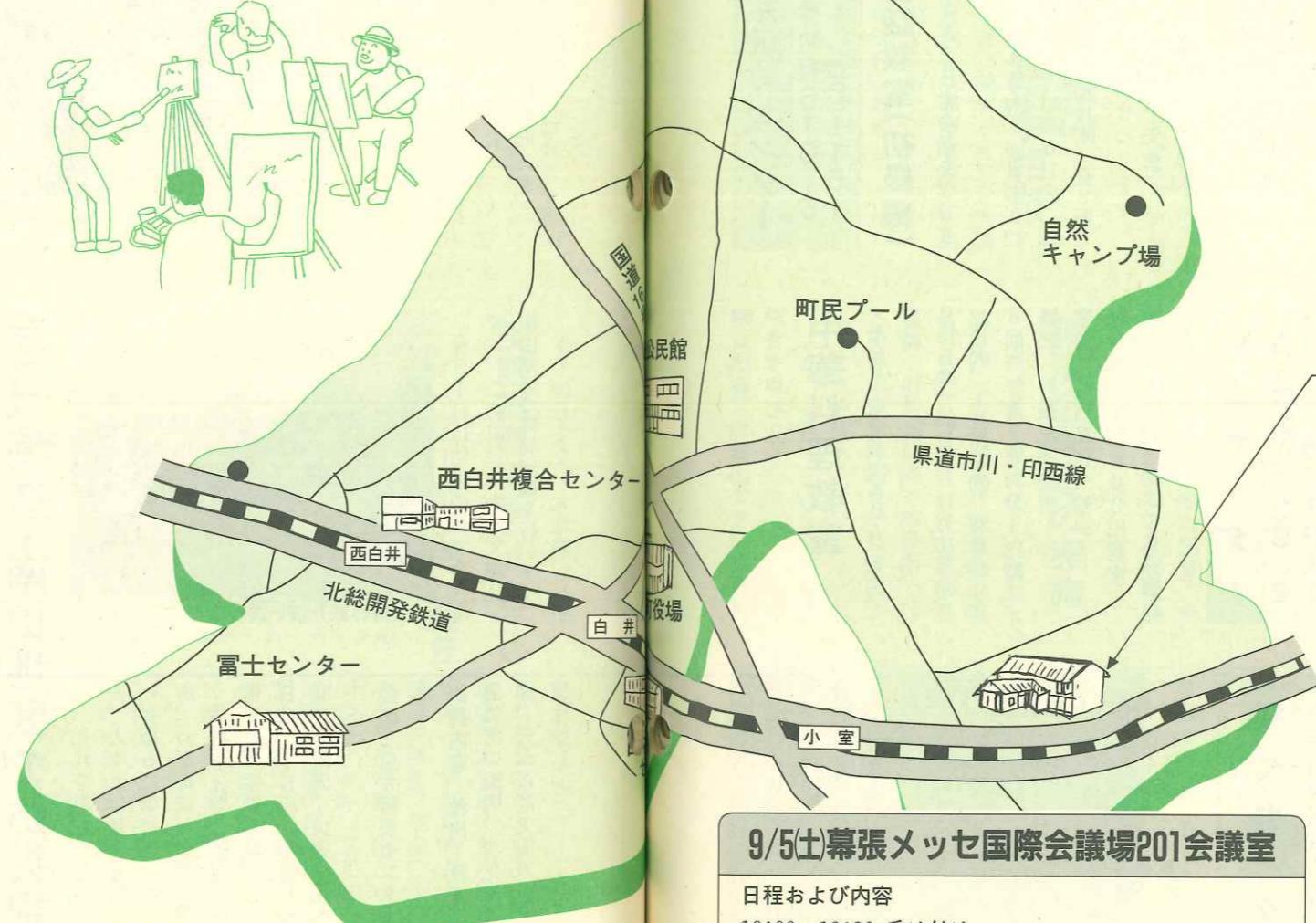
- 住民の生涯学習をどのように進めているか
- 団体・ボランティアはどのような活動をしているか
- 行政と団体との連携のあり方はどうすればよいか

事例発表：尾島 繁（町社会福祉協議会会長）外



白井町へ

まちづくり研究・白井大会を開催



9/5(土)幕張メッセ国際会議場201会議室

日程および内容

10:00~10:30 受け付け

10:30~12:00 研究交流会3部

トーク アンド トーク

「社会の動向と生涯学習」

～どのように進めるか～

出演者：俳優 牟田悌三

元巨人軍選手 二宮至

藤原歌劇団 本宮寛子

白井町長 秋本衛久

文部省社会教育官 福留強

12:00~13:00 昼食、休憩

13:00~ 千葉県生涯教育フェスティバル

アトラクション、講演、寄席など

特集：生涯学習とまちづくり

9月4日、全国から生涯学習を推進する人たちが白井町に集まり、情報交換と交流を図る「全国生涯学習まちづくり研究・白井大会」が、福祉センターを会場に開催されます。

当日は山本教育長の基調報告や、文部省社会教育官福留強氏の基調提言「生涯学習のまちづくりの課題」。午後からは3つの分科会と、画家長尾清灑さんの公演などがあります。

また、翌日の5日は幕張メッセに会場を移し、秋本町長や俳優の牟田悌三氏による「生涯学習をどのように進めるか」をテーマにした、意見交換会も行われます。

当日参加も受け付けます。あなたも参加してみませんか。

会場：福祉センター
☎ 922022

日程および内容

10:00~10:30 受け付け

10:30~10:50 開会、あいさつ

社会教育協会理事長 山本静一
白井町長 秋本衛久

10:50~11:20 基調報告

「わが町のまちづくりと生涯教育」
白井町教育委員会教育長 山本達雄

11:20~11:50 基調提言

「生涯学習のまちづくりの課題」
文部省生涯学習局社会教育官 福留強

12:00~13:30 昼食、休憩

13:30~16:15 研究交流会1部

第1分科会
「芸術・文化のまちづくり」

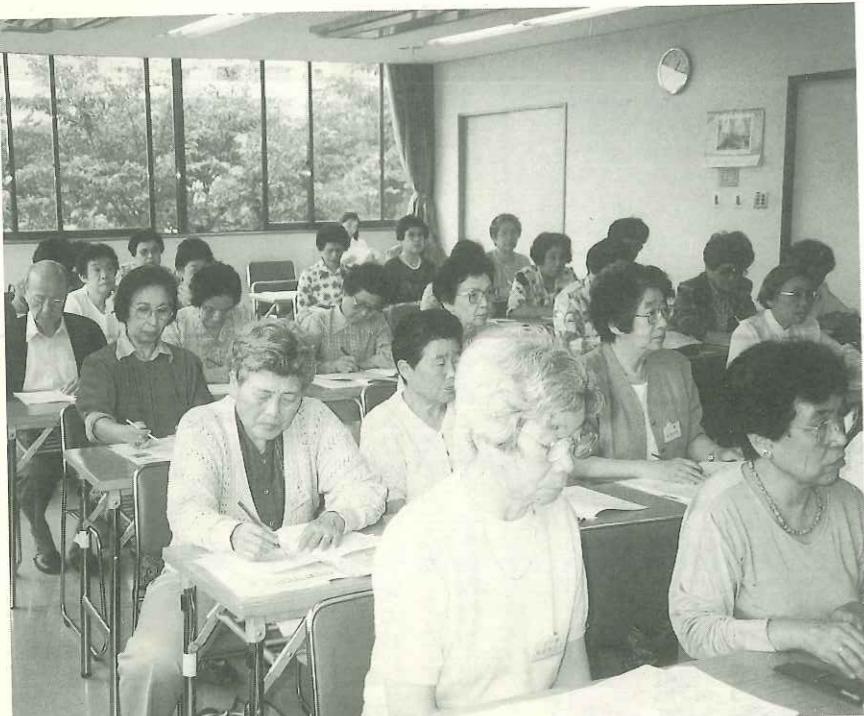
第2分科会
「女性から見たまちづくり」

第3分科会
「団体活動 ボランティアとまちづくり」

17:00~19:00 研究交流会2部

懇親パーティー
「ふるさと情報交換交流会」

公演：光人画業 長尾清灑（画家）



生きがいを見つけて もっと健康な毎日を

主役は

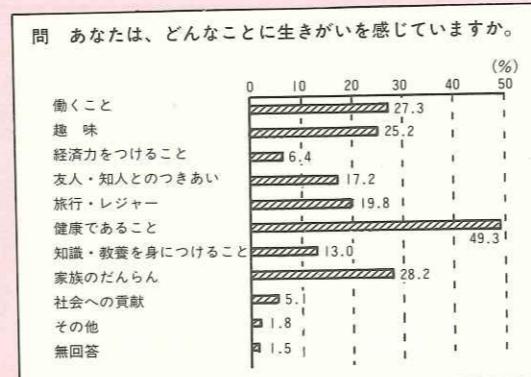
すべての場が 生涯学習のステージ

と。「今」、それがすべてのスタートです。そうした豊かな学習や体験は、大人はもちろんのこと、学校で学ぶ子どものころから体験させ、自らの生きがいを楽しむ態度を、身に着けさせてあげたいのです。

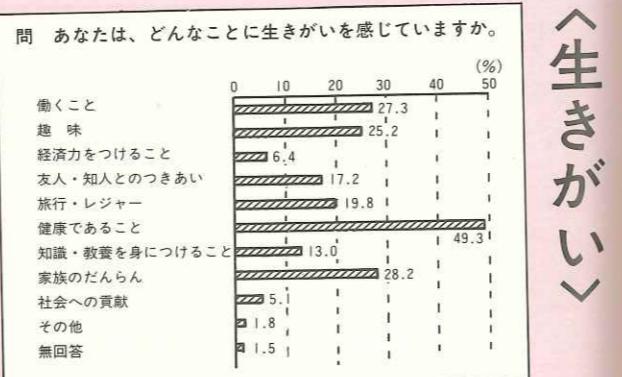
新しい自分を 発見

やつてみようと思うことにふさわしい場所。それは家庭、学ぶところから体験させ、自らの生きがいを楽しむ態度を、身に着けさせてあげたいのです。自己発見の材料が、皆さんに発見されるのを、きっと待っています。

性年齢別 生きがい (%)					
	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	健康であること 49.3	家族のだんらん 28.2	働くこと 27.3	趣味 25.2	旅行・レジャー 19.8
男 20歳代	家族のだんらん 45.5	趣味 39.0	旅行・レジャー 26.0	健康であること 26.0	働くこと 19.5
30歳代	健康であること 53.0	働くこと 30.1	家族のだんらん 27.7	趣味 24.1	旅行・レジャー 22.9
40歳代	健康であること 43.9	働くこと 37.4	家族のだんらん 31.8	趣味 27.3	知識・教養 16.2
50歳代	健康であること 57.5	働くこと 35.8	趣味 28.3	家族のだんらん 19.2	知識・教養 16.7
60歳代	健康であること 60.0	働くこと 36.7	趣味 30.0	旅行・レジャー 23.3	知識・教養 13.3
70歳以上	健康であること 69.6	趣味 30.4	働くこと 17.4	旅行・レジャー 13.0	知識・教養 13.0
女 20歳代	友人・知人とのつきあい 47.1	旅行・レジャー 36.3	健康であること 24.5	趣味 22.5	家族のだんらん 19.6
30歳代	家族のだんらん 53.8	健康であること 43.6	趣味 23.9	旅行・レジャー 20.5	働くこと 18.8
40歳代	健康であること 56.7	働くこと 34.5	家族のだんらん 24.6	趣味 20.7	友人・知人とのつきあい 19.2
50歳代	健康であること 72.8	趣味 34.2	家族のだんらん 21.1	旅行・レジャー 17.5	趣味 13.2
60歳代	健康であること 66.7	趣味 29.4	働くこと 25.5	旅行・レジャー 21.6	知識・教養 13.7
70歳以上	健康であること 63.9	友人・知人とのつきあい 36.1	家族のだんらん 22.2	趣味 19.4	働くこと 16.7



生きがいを感じていることについては、「健康であること」が49.3%で最も多く、次いで「家族のだんらん」「働くこと」「趣味」が続いています。性年齢別にみると、20歳代では「友人・知人とのつきあい」、30歳代では「家族のだんらん」、40歳代以上の人は「健康であること」を男性女性ともに、それぞれ第1位にあげています。また、40歳代、50歳代、60歳代の男性は、いずれも「働くこと」を第2位にあげています。



あなたです

一人ひとりが決める自分の生涯学習

質問コーナーでも盛り上がった
舛添要一氏の講演会

生涯学習の主役は、あなた自身です。自分のために始めることが、いつしかみんなの中へと輪が広がっていくことでしょう。そこには、素晴らしい生活が待っているのです。スタートは、いつでも。始めようと思ったとき、それが楽しその始まりです。ステージは、どこでも。皆さんも、その始まりです。

すべてのスタートは今

さまざまな学習・体験はいつでもできます。生きがいづくりのために、健康づくりのために、資格の取得のためになど。やつてみようと思つてみると、自分がたくさんには数多くあります。生きがいづくりのために、健康づくりのために、資格の取得のためになど。やつてみようと思つたとき、それから生涯学習は始まっているのです。

今やつていることは、継続してより良く。これからやろうとすることとは、まず始めてみることです。

皆さんを取り巻くすべての場、そこが、皆さん自身の生涯学習のステージなのです。

そして、自分の学んだことを広げていくとき、もっと素晴らしい生きがいを見いだせることでしよう。

皆さんが取り巻くすべての場、そこが、皆さん自身の生涯学習のステージなのです。

広げていくとき、もっと素晴らしい生きがいを見いだせることでしよう。

皆さんを取り巻くすべての場、そこが、皆さん自身の生涯学習のステージなのです。

自分のために「楽しい」と感じた瞬間、生涯学習が自分自身の中で展開されているのです。事柄そのものが生涯学習です。何を、どのようにやるのか、それは皆さん自身が決定することなのです。自分で、どこでも、だれでもが

自分が豊かさを感じるところ、それが皆さん一人ひとりが選んでください。そこに自身の生きがいが付け加わるのです。

生涯にわたり自ら学び、社会の変化に取り残されないように、自分自身を育てていくことが大切です。

皆さん一人ひとりが選んでください。そこに自身の生き

がいを感じるところ、それが皆さん一人ひとりが選んでください。そこに自身の生き

がいを感じるところ



ミニ手話講習会

ボランティアを学ぶ

福祉活動を通して自分を見つけた

夏休み中の5日間、町内の中学生と高校生23人は、ボランティアや手話を体験しました。この催しは、福祉活動の体験

を通して、お年寄りや障害者への理解を深めてもらおうと、町社会福祉協議会が行っている「福祉サマースクール」で、今回で3回目。その際の生徒たちの感想の一部を紹介します。

(白井高校)斎木 弥生さん
(大山口中)大山 樹理さん

『福祉とは、より豊かになる』
と。豊かさとは、家庭、健康、友達、趣味・学習・夢・希望、ボランティアの、すべてのバランスがとれているほど豊かである。ボランティアとは、「他人(自然)を通して自分を見つける作業」である。ためになる

なりたい

(白井中)後藤 克利くん

『福祉のむずかしさと便利さと、手話のむずかしさと便利さと、そして、何よりも障害を持つた人の苦労を知りました。』

(七次台中)生田 誠くん

『手話とは、体全体を声にして話すものだと思いました。また、声の出ない口を、一生懸命に動かしているのを見て感動を覚えました。』

(白井中)松村 仁くん

『福祉って何だろう?』といふ質問について、障害者や老人への思いやりと考えていました。でも、違っていました。介護者から障害者・老人へ、そして障害者・老人から介護者へしてあげられることとわかりました。来年も参加したいと思います。

あなたの特技 生かしてみませんか 生涯学習人材バンクに登録を



子ども卓球教室

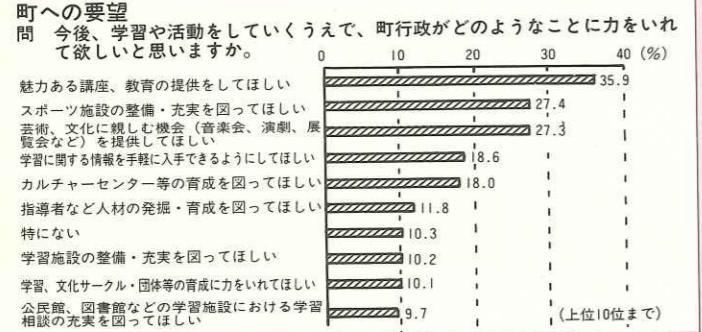
町では、人材バンク登録制度を設置し、昭和59年から登録者名簿を作成しています。現在は、137人がこの人材バンクに登録され、公民館講座やスポーツ教室などで講師として活躍しています。

これからも、町民の皆さんに、幅広い分野で、より多くの学習の場を提供していくため、多くの方々の参加をお待ちしています。

日ごろの学習活動の成果を、地域社会に還元することで、もっと素晴らしい生きがいを見つけてみてはいかがですか。

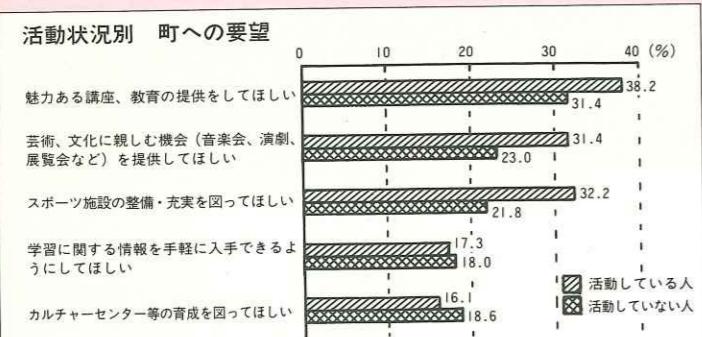
登録分野 教育等一般、人文・社会科学、自然科学、産業・技術、芸術・文化、体育・スポーツ・レクリエーション、家庭生活、市民生活・国際関係

登録の申し込み・問い合わせ 教育委員会社会教育課へ ※自せん、他せんを問いません。



完成が待たれる(仮称)白井町文化センター

△町への要望△



今後、学習や活動をしていくうえで、町行政に望むことについては、「魅力ある講座、教育の提供」が最も高く35.9%を占め、次いで「スポーツ施設の整備・充実」(27.4%)、「芸術・文化に親しむ機会の提供」(27.3%)が上位3位を占めています。

活動状況別にみると、現在、何らかの活動を行っている人が、「魅力ある講座・教育の提供」(38.2%)、「芸術・文化に親しむ機会の提供」(31.4%)、「スポーツ施設の整備・充実」(32.2%)とする人の割合が高くなっています。

記念式典と講演、アトラクション

▼日時 10月16日(土)午後1時 開場 午後1時30分開会

▼場所 白井町福祉センター

▼演題 「生涯学習時代への提言」

▼講師 千葉大学名誉教授、聖徳大学教授 文部省生涯学習クリエイティブアドバイザー 坂本 昇一氏

※皆さん、お誘い合わせてぜひご来場ください。

△出演 落語家 三遊亭楽太郎氏



〈プロフィール〉 神奈川県生まれ。横浜工専(現横浜国立大学)卒業後、同市立中学校に4年間勤務。東京教育大学教育学部、大学院修士・博士課程で生徒指導を専修。千葉大学教育学部教授、付属中学校長、教育学部長を歴任し、平成5年千葉大学名誉教授、聖徳大学教授。教育学博士。主な著書に「これから家庭教育」「基本的生活習慣のしつけ」など



趣味も幅広く

活動の目的 問 どのような目的で行っていますか。

選択肢	割合 (%)
健康維持や体力づくりのため	54.7
人間関係を広げたり、深めたりするため	52.0
生きがいを持つため	45.7
老後の生活を豊かにするため	20.4
教養を高めるため	18.0
仕事に役立つ資格や技能に関するもの	13.7
家庭生活に必要な知識や技術を高めるため	8.2
社会に役立つ活動をするため	8.2
必要な資格をとるため	6.7
社会の進歩や変化に適応するため	5.9

(上位10位まで)



活動を「している」人の目的については、「健康維持や体力づくりのため」が最も多く54.7%を占め、次いで「人間関係を広げたり、深めたりするため」52.0%、「生きがいを持つため」45.7%と続いている。

△学習活動と目的△

活動を「している」人の目的

につけて、「健康維持や体力

づくりのため」が最も多く54.

7%を占め、次いで「人間関係

を広げたり、深めたりするため

52.0%、「生きがいを持

つため」45.7%と続いて

います。